

平成 1 7 年度
来函観光入込客数推計

函館市商工観光部観光振興室

平成17年度来函観光入込客数推計

1 目的

本市の観光に関する諸資料とするため、平成17年度における来函観光入込客数、交通機関別入込数などの推計をまとめた。

2 観光入込客数の概要

平成17年度における観光入込客数は、約484万3千人で、前年度に比べ約22万4千人(4.4%)の減となり、平成15年度から3年連続の減少という厳しい結果となった。

上期(4月~9月)は、前年度同期に比べ約24万1千人(6.9%)の減であったが、下期(10月~3月)においては、前年同期に比べ約1万7千人(1.1%)増の約158万4千人となった。

交通機関別の内訳においても、JR、フェリー、バス、乗用車、航空機のいずれも減少した。

3 観光入込客数の傾向

減少の要因について総体的にみても、春先の天候不順、夏の猛暑などといった天候の要因によるもの、さらには、3月25日から9月25日まで、半年間にわたって開催された「愛・地球博」や、7月には知床が世界遺産に登録されたこと、また、沖縄などへの南志向が続いているほか、韓流ブームなど海外旅行への人気が高いことなどから、本市への入込客数が減少となった。

この様な中であって下期は、記録的な大雪となったが、クリスマスファンタジーを主とした冬季イベントの定着や国際チャーター便による台湾を中心とした東アジアからの観光客の増加が見られ、好調に推移した。

なお、交通機関別では、次のような変化がみられた。

- (1) 下期における航空機は、国内路線での観光客が減少する一方で、台湾を中心とした東アジア方面からの国際チャーター便が前年度同期に比べ43.7%の増と好調に推移し、1.4%の増となったが、年度全体では、3.6%減となっている。バスについても同様の傾向が見られるが、これは国際チャーター便の団体観光客が利用していることによるものと推測される。
- (2) JR、フェリー、乗用車については、上期は前年度同期に比べ1.3%~8.5%の減となっていたが、下期においては冬季各種イベントの定着、雪解けが早くなったことなどから観光客が好調に推移し、前年度同期に比べJRでは1.1%、フェリーでは0.5%の微減にとどまり、乗用車にあっては2.9%の増となり、結果的には前年度同期を若干上回る入込客数となった。

平成17年度来函観光入込客数推計

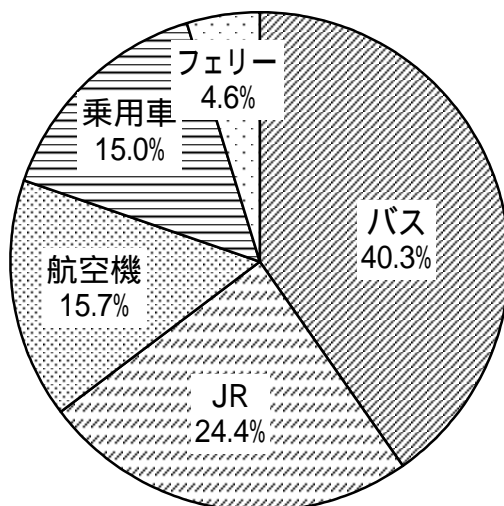
交通機関別観光客数

上段：平成17年度

下段：平成16年度

順位	交通機関	観光客数(千人)		前年度対比	交通機関別構成比		
1	バス	17	1,953.8	(%)	40.3		
		16	2,081.7	93.9	41.1		
2	JR	17	1,180.9	98.7	24.4		
			海峽線 589.6			98.3	12.2
			函館本線 591.3			99.1	12.2
		16	1,196.4	/	23.6		
			海峽線 599.7			11.8	
			函館本線 596.7			11.8	
3	航空機	17	757.8	96.4	15.7		
		16	786.4		15.5		
4	乗用車	17	728.4	94.3	15.0		
		16	772.8		15.2		
5	フェリー	17	222.5	96.6	4.6		
		16	230.3		4.6		
合計		17	4,843.4	95.6	100.0		
		16	5,067.6		100.0		

交通機関別構成比



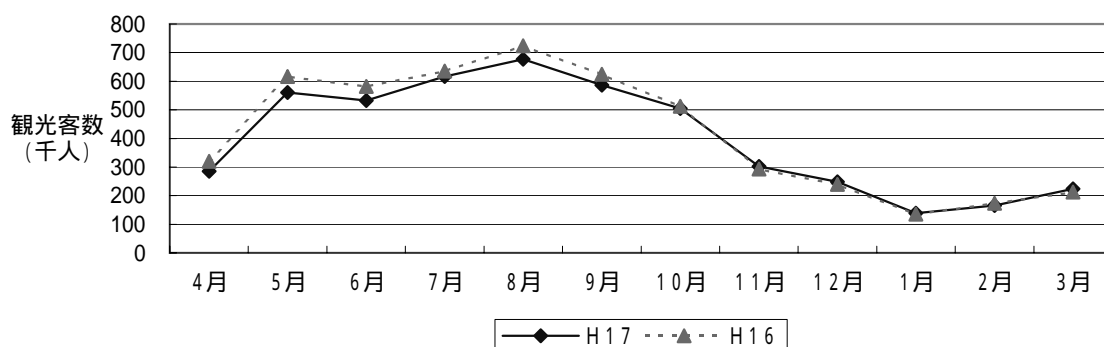
月別，道外・道内別，宿泊・日帰り別観光客数

上段：平成17年度

下段：平成16年度

(単位:千人)

区 分	観 光 客 数				宿 泊・日 帰 り 別		
	道 外	道 内	計	前年度対比	宿 泊	日 帰 り	
4 月	17	185.1	100.4	285.5	(%)	141.6	143.9
	16	209.3	110.4	319.7	89.3	180.1	139.6
5 月	17	352.9	208.2	561.1	91.1	350.4	210.7
	16	390.7	225.3	616.0		334.1	281.9
6 月	17	347.6	185.2	532.8	91.6	327.2	205.6
	16	383.9	197.7	581.6		327.2	254.4
7 月	17	410.1	206.8	616.9	97.0	358.6	258.3
	16	418.9	216.9	635.8		358.3	277.5
8 月	17	432.0	245.0	677.0	93.5	454.9	222.1
	16	459.8	263.9	723.7		462.1	261.6
9 月	17	392.7	193.4	586.1	93.8	373.1	213.0
	16	427.6	197.0	624.6		378.6	246.0
上 期	17	2,120.4	1,139.0	3,259.4	93.1	2,005.8	1,253.6
	16	2,290.2	1,211.2	3,501.4		2,040.4	1,461.0
構成比 (%)	17	65.1	34.9	100.0		61.5	38.5
	16	65.4	34.6	100.0		58.3	41.7
10 月	17	355.5	149.0	504.5	98.4	335.3	169.2
	16	364.2	148.7	512.9		340.0	172.9
11 月	17	218.9	83.3	302.2	103.2	240.9	61.3
	16	211.7	81.1	292.8		240.4	52.4
12 月	17	184.1	64.8	248.9	104.1	197.1	51.8
	16	176.9	62.1	239.1		177.0	62.1
1 月	17	96.3	42.7	139.0	103.0	109.6	29.4
	16	93.5	41.5	135.0		98.7	36.3
2 月	17	116.3	49.4	165.7	95.6	131.6	34.1
	16	123.2	50.1	173.3		127.6	45.7
3 月	17	145.6	78.1	223.7	105.0	135.8	87.9
	16	138.0	75.1	213.1		128.2	84.9
下 期	17	1,116.7	467.3	1,584.0	101.1	1,150.3	433.7
	16	1,107.5	458.6	1,566.2		1,111.9	454.3
構成比 (%)	17	70.5	29.5	100.0		72.6	27.4
	16	70.7	29.3	100.0		71.0	29.0
合 計	17	3,237.1	1,606.3	4,843.4	95.6	3,156.1	1,687.3
	16	3,397.7	1,669.8	5,067.6		3,152.3	1,915.3
構成比 (%)	17	66.8	33.2	100.0		65.2	34.8
	16	67.0	33.0	100.0		62.2	37.8



年度別観光入込客数の推移（参考）

（単位：千人）

年 度	上 期	下 期	合 計	前年度対比
平成 8 年度 （ 1996 ）	3,826	1,400	5,226	（ % ） 106.0
平成 9 年度 （ 1997 ）	3,816	1,486	5,302	101.5
平成10年度 （ 1998 ）	3,844	1,548	5,392	101.7
平成11年度 （ 1999 ）	3,802	1,505	5,307	98.4
平成12年度 （ 2000 ）	3,324	1,561	4,885	92.1
平成13年度 （ 2001 ）	3,631	1,672	5,303	108.6
平成14年度 （ 2002 ）	3,603	1,708	5,311	100.2
平成15年度 （ 2003 ）	3,610	1,638	5,248	98.8
平成16年度 （ 2004 ）	3,501	1,566	5,067	96.6
平成17年度 （ 2005 ）	3,259	1,584	4,843	95.6

